

市の民の声



知覧町 郡
寺西 照子

頑張ってるよ 知覧

東京より知覧町に移り住み、早6年が過ぎます。ちらん人形博物館を開館しまして6年。私がこの仕事をして毎日心掛けていることがあります。それはお客様に喜んでいただくことです。「ここに来て良かったです。また友だちを連れて来ますね。」そんな声を聞いた時、この仕事のやりがいを感じます。観光でいらっしゃるお客様は、その土地になんらかの思いがあり、訪れる方が多く、期待もあるでしょう。興味もあるでしょう。そんなお客様との出

会いを大切にして観光に携わる皆様と連携して素晴らしい観光地を目指したい。

頑張っている所に人は集まります。親切にしていいただいた所にまた足を運びたくなります。知覧は街並みがとても綺麗です。他にない素晴らしいものを沢山持つています。先人たちの残してくださったものを活かす努力をしながら皆様といっしょに一流の観光地を目指し、小さな努力からこつこつ積み重ねて頑張りたい。そして今、若い人たちのおかれている現状は心が痛みます。働きたくても働けない。これは異常事態です。若い人たちがこの南九州市で安心して仕事が出来て、そして安心して子どもを育てていけるようなそんな町に私たち大人が今、して行かなくてはいけないと思います。



川辺町 平山
児玉 晃一

前略 南九州市議会様

平成19年12月に3町の対等合併により南九州市となり早3年が経ち、市議会の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。今回お便りを書くにあたり、改めて市議会の役割について考えてみました。住民の代表として選出された市長と共に市民の生活を豊かで実りあるものにする。平たく言えばこんな感じでしょうか。さて、この3年半余りで私たちの市は「自然豊かで創造と活力に満ち 暮らし」といのちが輝くところ、やすらぐまち」という基

本理念に近づけているでしょうか。現在、市議会報やホームページ、議会傍聴などで情報を得られますが、実際、日々の生活に追われ、関心はあるもののあまりわからないのが実感です。もっと直に要望を聞いたり、お話しをする機会や場所があればと思います。市政においてもいろいろな課題が山積みで大変だと思います。「木を見れば森が見えず、森を見れば木が見えない」という言葉があるように、大切なのはバランス感覚だと思います。国政が一極集中から地方分権体制にシフトする中、その小さな単位とも言える市制も3町それぞれの特性を活かした南九州市を創って欲しいと願います。

草々

編集後記

天災は忘れた頃にと言いますが、鹿児島8・6水害、阪神淡路大震災、中越地震、奄美大島大水害、そして今回発生した東北地方太平洋沖地震による大津波、原子力発電所の事故は、東北関東沿岸地域の広範囲に被害を与えました。テレビ画面に映し出される映像は目を疑いたくなるような光景ばかりで、自然の猛威

は防災計画をはるかに超える想定外の被害をもたらした。その破壊力を思い知らされました。今回の震災の教訓として最悪の事態に備えて防災計画を立て直す必要があるのでは：

被災された方々に対し、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興を願いつつ：

がんばろう東北・日本！
(菊永)

“議会を傍聴してみませんか”

次の議会は**6月21日**開会予定

手続き簡単!! 本館2階で
住所・氏名などを書くだけ

▼広報編集委員会

委員長	峯 芒	勝 範
副委員長	山下 つきみ	
委員	満 留	秀 昭
	大 園	秀 己
	加治 佐民生	
	菊 永	忠 行